

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成28年3月のきごころ通信 (先月の話題)



清水建設、営業益が倍増 4～12月 大型再開発など活発 建設資材の上昇も一服

清水建設の2015年4～12月期の連結営業利益は620億円と、前年同期に比べて倍増したようです。受注高の8割近くを占めるオフィスビルや工場など建築工事の利益率が改善。建設資材の上昇が一服し、人手不足も和らいだため、利幅を確保しやすく練っているようです。(2016年2月2日 日本経済新聞記事から抜粋)



朝食抜き 脳出血リスク 阪大など調査 血圧上昇が原因

朝食を食べる回数が週2回以下の方は、毎日食べる人に比べて脳出血の危険性が36%高まるとの論文を、大阪大学と国立癌研究センターなどのチームが米医学誌に発表。

朝の欠食が肥満や高血圧につながる恐れのあることは知られていますが、さらに脳出血の危険性も高まると確認されたのは世界で初めてです。朝食を食べないと朝の血圧が上がるためと考えられます。(2016年2月5日 日本経済新聞記事から抜粋)



ゼネコン4社、最高益に 4～12月最終 首都圏で民間工事増加 大林組・鹿島、伸び率2倍

ゼネコンの業績が好調です。大手4社が発表した2015年4～12月期連結決算は、全社の純利益が過去最高になりました。首都圏を中心に民間工事の受注が増加。労務費や資材費の上昇分を受注価格に転嫁し、採算が改善。

大林組と鹿島の純利益の伸び率は2倍。大成建設と清水建設も計画に対する進捗率は8割を超えています。

建設業界では2016年半ば以降に、再び人手不足が深刻になるとみられています。
(2016年2月10日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



遊具事故6年で1500件 滑り台最多、春に増加傾向

消費者庁 保護者に注意呼びかけ

子供が公園や学校などにある遊具で負傷した事故の情報が昨年12月までの約6年間に計約1500件寄せられたとして、消費者庁は、保護者らに注意を呼びかけました。

あたたくなって外遊びが増える春に事故が多くなる傾向があり、同庁は「保護者が子供から目を離さずに気を付けることで避けられる事故は多い」としています。

(2016年2月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



ピッタリ枕で極上の寝心地を 隙間埋め首の曲線支える

自然な立ち姿理想 寝返りの動き観察

寝ているときも、リラックスして立っているのと同じ姿勢を維持できるのが、その人に合っている理想的な枕。

「へたり」は替え時 長くても5年めど

へたると高さを維持できません。早いもので1、2年。長持ちする素材でも4、5年で替える必要があります。

枕のセルフチェック

①朝起きたとき、肩こりやだるさなど不快感はないか。最初の位置から枕が動きすぎていないか。

②顎が引けて息がしにくくないか。

③顎と視線が極端に上を向いていないか。

これらが当てはまるなら、高さがあっていない可能性。

・睡眠時の首の骨の角度が、敷寝具に対して15度になるのが理想。

(2016年2月11日 日本経済新聞記事から抜粋)



タマホーム 中高級住宅に参入 高所得者層にらみ新会社

低価格の注文住宅を手掛けるタマホームは、中高級住宅に参入します。

子会社を通じ、建物の金額が従来の約2倍の商品を販売します。地方工務店とも提携し、供給網を広げます。同社の主力顧客は消費増税後、買い控えを続けています。再増税を控え、賃上げや資産効果などで住宅購入者が戻っている所得の高い層を取り込める体制を築き、新たな収益源に育てます。

(2016年2月14日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

指示、的確に伝わる 論理的思考法 全体像、部下と共有

・まずは指示を出す側が、どんな課題があり、それに対応するのに必要な作業の全体像を整理する必要。

- ・「大論点」「中論点」「小論点」などと樹形図で課題を整理し、仮説や作業内容を明確化。
- ・必要な作業を過不足なく洗い出す。
- ・可能な限り、構造全体を部下と共有。

☆進行確認—「7・3・1の法則」

- ・仕事の達成度が7割、3割、1割の時に進行状況を確認し擦り合わせる。
- ・特に気を付けるのは「3」。達成度3割の時点は、仕事を果たすための計画は立てられたが、実行される前の段階。
- ・進行度1割（仕事の内容を説明した段階）の時点で、3割の段階になったら報告するよう伝えておく。

☆まず書いて論点整理

- ・まず伝えたい内容を書き、伝える順序を整理することで、後輩に指示を出す時だけでなく、先輩に質問する際も疑問点が明確に。

(2016年2月16日 日本経済新聞記事から抜粋)

爆買い 様変わり 日用品人気、客単価は下落

多くの中国人が日本で買い物を楽しんだ春節商戦。百貨店などの販売は堅調ですが、その中身は様変わり。売れ筋はバッグなど高級ブランド品から日本製の化粧品など日用品へ移り、客単価は下落しました。(2016年2月17日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

怠けアリにも働きあり？

働き者休むと代わりに労働 北大チーム発表

アリの集団は常にすべての個体が働くより、働かないアリがいたほうが長く存続できることを、北海道大学の研究チームが突き止め、英科学誌電子版に発表。

働き者のアリが疲れて休んだ時、怠け者とみられていたアリが代わりに働くため。

人間も含め、短期的効率を求めすぎると、組織が大きなダメージを受けることがあると指摘しています。

アリやハチといった「社会性昆虫」の集団には、ほとんど働かない個体が常に2～3割存在。働き者が疲れて休むと、怠け者が働きだすことを確認。

アリは「仕事への腰の軽さ」に個体差があり、腰の軽いアリから順に働き出す傾向。

組織運営に当たり、長期的存続の観点を含めて考えることの重要性が示されています。会社で働かないと思われている人も、相対的に腰が重いだけで、ピンチとなれば活躍する可能性はあります。(2016年2月17日 日本経済新聞記事から抜粋)

朝型の人増える 昨年、就寝時間早まる NHK調査

NHKが行った国民生活時間調査で、早く就寝する人が増えていることが分かりました。

日本人の平日の睡眠時間は7時間15分。夜は各曜日とも半数以上の人が午後11時には寝ています。

朝、寝ている人が半数を切る時間は平日は午前6時15分、土曜日は6時半、日曜7時。

平日の8時より前に仕事をしている人は、2000年の13%から20%に増えました。午後1時～5時、午後5時半～9時半は減少傾向。

(2016年2月18日 日本経済新聞記事から抜粋)

女性 すぐ再婚可能 離婚時、妊娠していない場合 特例

民法改正案 禁止期間、100日に短縮

法務省は女性の再婚禁止期間を6か月から100日に短縮する民法改正案に、離婚時に妊娠していない場合は100日以内でも再婚を認める規定を盛り込む方針です。

(2016年2月20日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



パパ抜きに学ぶ相手の心理読む方法 視線・しぐさに本音が潜む

パパ抜き必勝法3つの原則

- ①極端性回避の法則：突き出しているもの、端にあるものなど極端なものは避ける傾向。売り込みたい商品は中央に置く。
- ②犯人は現場に戻るの法則：隠しておきたいものほど無意識に目で追ってしまうもの。相手の目の動きに注目。
- ③力んだら負けの法則：緊張は力みとなって表れやすい。ジョーカーを持つ手はきつく握られていることが多い。瞬きが増える。歯を食いしばるなど動きが出ることも。

表情やしぐさから本音を読み解く

- ・つま先が上を向きがち→楽しい。興奮している。
- ・手を握り締める→うそや隠し事がある。
- ・目を見開く→好意がある。
- ・つま先が相手を向いていない→退屈。関心がない。
- ・瞬きが多い、目をこする→嫌なものから目を背けたい。不快感や嫌悪感がある。
- ・男性なら首回り、女性なら髪を触る→不安や緊張などストレスを感じて体温が上昇。

(2016年2月20日 日本経済新聞記事から抜粋)



大阪府、68年ぶり人口減 2015年国勢調査速報

工場地帯で顕著

大阪府が発表した2015年の国勢調査速報によると、人口は8,838,908人と前回調査(2010年)に比べ0.3%減りました。1947年以来、68年ぶりに減少に転じました。日本の人口は2008年をピークに減少傾向です。

東大阪市では、1983年に約1万あった製造業の事業所数は、現在は5000を下回っています。門真市でも大手メーカーの生産の海外シフトなどの影響が出ているようです。

一方、大阪市など10市町の人口は増えました。2010年の国勢調査で人口が増えたのは計9都府県。

政令市人口 関西伸びず 首都圏転出・少子化が影

神戸・堺マイナス、大阪に集中 近畿3府県も人口減

大阪市は前回調査の2010年比で1.0%増えたものの、神戸市が0.4%減、堺市が0.25%減。神戸市は20年ぶり、堺市は15年ぶりにマイナスに転じました。

京都府は1%、兵庫県は0.92%減少しました。

※大阪市約269万人、神戸市約154万人、京都市約147万人、堺市約84万人。

(2016年2月23日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



純利益43億円めざす 大建工業が中計 2019年3月期 非住宅や海外強化

大建工業は2019年3月期までの3か年の中期経営計画をまとめました。
オフィス向け建材の製造・施工など非住宅分野や海外事業を拡大するのが柱。
(2016年2月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



覚える技術 脳内で映像化 語呂合わせも

短時間で記憶し、いつでも引き出せるようになるためのポイントは、覚えるべき内容を整理、理解した後に、目的によって「映像」「音感」「語呂」「カテゴリー」を使い分けて覚えること。20代以降は「物事の内容や意味を理解できた言葉」でないと覚えるのが難しくなります。

記憶は「覚える」ことよりも「思い出す」ことが大切。自分が既に覚えた映像や音などを手掛かりにするとよさそうです。

手や声を使った運動が伴う「作業行動」が加わると、脳の働きが高まり、記憶効果が高まります。(2016年2月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



戸建て 家賃定額50年保証 大和ハウスや住友林業 転勤・高齢者に対応、地方に照準 賃貸仲介も収益源に

大和ハウス工業や住友林業は今春から、新築戸建て住宅の購入者に対して賃貸時の家賃収入を50年間、定額保証するサービスを全国で始めます。

転勤や高齢者住宅への入居などに際して、自宅を手放さずに収入が入る安心感をアピールします。(2016年2月25日 日本経済新聞記事から抜粋)



リフォーム建材7割増 パナソニック 2018年度売上高400億円

パナソニックは、リフォーム用の建材事業の売上高を2018年度に2014年比7割増の400億円に引き上げる方針です。

4月には高さを自由に調節できるドアの新シリーズを発売。現場でドアの下端をカットできる仕様にしました。(2016年2月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。



ゴルフ会員権に下げ止まり感 流通市場価格

60歳代以上の購入増

ゴルフ会員権の流通市場で取引価格に下げ止まり感が出ています。調査開始（1976年）以来の最安値となった2015年12月に比べ2%高くなりました。

低額のコースの会員権を買う60歳代以上の個人購入者が増えています。

（2016年2月25日 日本経済新聞記事から抜粋）



人口減の波 大都市にも 国勢調査 5年で94万人減

工場地帯 進む空洞化

総務省が公表した2015年の国勢調査で、外国人を含む日本の総人口は1億2711万47人と2010年の前回調査に比べ947,305人減りました。大都市の人口減も始まりました。

女性や高齢者の労働参加が進まなければ2030年の日本の潜在成長率は0.6%分ほど下がるとの試算もあります。（2016年2月27日 日本経済新聞記事から抜粋）

